

～本年もよろしくお願ひいたします～

明けましておめでとうございます。日頃より当センターの活動に対し皆様のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。本年も戸田市の児童生徒、市民の皆様のための自然学習センターとして活動してまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、今年最初の講座として、7日に「春の七草がゆ」を行いました。正月7日の朝、七種の草を刻んで入れたおかゆを食べる習慣は、古く室町時代から伝えられた行事の一つだそうです。セリ、ナズナ(ペンペン草)、オギョウ(ハハコグサ)、ハコベラ(ハコベ)、ホトケノザ(コオニタビラコ)、スズナ(カブ)、スズシロ(ダイコン)。これらの七草は、早春にいち早く芽吹くことから邪気を払うといわれています。また、正月のおせちで疲れた胃に、消化の良い野菜を入れたおかゆを食べることは健康を考えての事とも言われています。昔の人々の自然との深い関わりが図り知れますね。



今年も彩湖自然学習センターでは、多くの講座を計画しております。皆様の参加をお待ちしております。(T)

漢字で書くと「御形」。地方によっては「ゴギョウ」とも言います。

季節の生き物

アオサギ(コウノトリ目サギ科)



彩湖では、湖の中にある小島や湖岸で1年中見られることができます。全長は、88cm～98cmほどの大型の鳥です。羽を広げると150cm～170cmにもなります。青みがかった灰色の羽毛でおおわれていることから「アオサギ」の名前がつけられました。頭部は白い羽毛でおおわれ、目の上から後頭部にかけて黒いすじが入っています。

そのすじが延長するように後頭部から黒い冠羽が伸びています。くちばしは黄色ですが、繁殖期にはピンク色になります。広げた羽を見ると、上部が灰色、下部の風切羽は黒い色をしていて、羽のコントラストがはっきりしています。

川や湖、沼などの水辺に生息し、ジッと立ち止まって獲物を待ちぶせしたり、ゆっくりと歩いて、魚類や両生類、昆虫、小さなほ乳類などを捕まえて食べます。警戒心が強く、人が近づくと飛び立ってしまいます。彩湖では人の近づけない湖岸にいるので、間近での観察はなかなかできませんが、双眼鏡などを使って観察することができます。(I)



講座案内(1・2月)



1月15日(日) 野鳥観察会 雨天実施

「彩湖周辺の野鳥・厳冬」

冬の野鳥観察会シリーズ第3弾、厳冬編です。彩湖は冷たい風が吹き付け人もまばらですが、野鳥たちにはたくさん出会える季節です。猛禽にカモやカイツブリの仲間などを観察しに来ませんか？

対象：一般・親子など 小学3年生以下は保護者同伴

定員：20名

時間：10:00～12:00

持ち物：双眼鏡など観察道具(貸し出し可)

防寒着(帽子・手袋・マフラー・風を通さない上着など)

参加費：100円(保険代)



2月12日(日) 野鳥観察会 雨天実施

「彩湖周辺の野鳥・晩冬」

今年度最後の野鳥観察会です。北へ戻る準備を始めた鳥たちに会いに来ませんか？水鳥では、オスの求愛行動が観察できるかもしれません。大人も子どもも、どなたでも参加いただける観察会、ぜひ沢山のご参加お待ちしております。

対象：一般・親子など 小学3年生以下は保護者同伴

定員：20名

時間：10:00～12:00

持ち物：双眼鏡など観察道具(貸し出し可)

防寒着(帽子・手袋・マフラー・風を通さない上着など)

参加費：100円(保険代)



2月18日(土) 親子ふれあい教室 雨天実施

「竹をつかったものづくり」

道満でとれた竹で竹細工に挑戦しましょう！道具の使い方を練習しながら、思い思いの作品をつくります。コップ、貯金箱、おもちゃなど、1本の竹からいろいろな作品が作れますよ。

対象：小学生以上の親子

定員：20名

時間：10:00～12:00

持ち物：軍手、のこぎり、小刀(貸し出し可)、作品を入れる袋

参加費：100円(保険代)



申込方法：彩湖自然学習センターへ電話申込みか直接ご来館ください。(3階事務室)

なお、申込みは、講座の1か月前から受け付けています。 :048-422-9991

詳しくは彩湖自然学習センターホームページ

(<http://www.city.toda.saitama.jp/433/432448.html>)をご覧ください。